

# エネルギー資源新聞

## 今後のエネルギー政策

再生可能エネルギーをフル活用する事が求められる

環境に与える影響を最小限にした再生可能エネルギーによる発電を大幅に増加させることが求められています。今までは、いかに日本の電力供給は綻びることになります。また、データセンターの増加は電力消費量の増大を意味します。

環境に影響を与えない再生可能エネルギーによる発電が、最も求められている時期ではないでしょうか。

一方で、新しい原子力発電設備の増設が計画されていることも事実です。今は、地

## 新しい電源開発

間違いありません。さうに日本では災害の発生率が高いことから、仮に地下に封印したとしても、いつ露出で処分を行つてもリスクがあります。

### アラスカ州のLNG開発

アメリカ合衆国アラスカ州の天然ガス田の開発について話し合いが進められていますが、日本にとって東に依存するのではなく、

エネルギー資源の輸入先を分散することで安全保障の面でも大きなメリットがあります。中東で小さなトラブルが発生した場合でも、

太陽光や風力や水力や地熱発電などの再生可能エネルギー発電の開発は、今も普及が進んでいないのが現状です。再生可能エネルギーで生まれ出される電力は、それほどの出力がなく、安定供給に大きな課題があることとも、また事実です。

再生可能エネルギーの普及は間違いありません。

原子力発電所は自治体にとって大きな財源になることから、誘致に熱心なところもあれば、放射性廃棄物の問題をめぐって、反原発運動により人々の意見が真っ二つに割れるのは当然のことです。実際に原子力発電所を再稼働するときでさえも、反原

## 反原発運動

開運動が起きてしまい、簡単に再稼働へ進むことが難しいことが多いのもまた事実です。

### 安定供給の課題

インターネットサーバー施設が作られるたびに、電力消費量は増加の一途をたどっています。地球温暖化物質の排出を最小限にするには、今の段階では原子力発電に頼るしかないのが現状です。

今後、新しい効率のよい発電方式を開発しなければ、発電能力の増加のために、発電所増設に対応できなくなることは間違いありません。

今後の電力需要

国内の電力需要は人口減少からある程度は下がるかも知れませんが、データセンターなどの設置によって大量消費施設が増加していることは事実です。国内ではその電力需要にこたえるために新規に原子力発電設備の増設が検討されています。

### 新規原発の建設

国内のある電力会社は、新たに原子力発電設備を建設するための調査活動を再開することを発表しました。

東日本大震災以降は、新規の建設計画はすべて停止されました。それとは逆に、原子力発電設備のチェック

体制が強化され、それ伴つて廃炉に追いつまれ、それが、それに伴つて廃炉に追い込まれた発電所も存在します。現在のIT技術の発展に伴い、電力需要は増加傾向にあります。大規模なデータセンターが国内に数多く建設され始めています。データセンターは大量の電力を消費することから、今後も電力需要が増加することは明らかです。大量の電力を安定的に発電するには、原子力発電が最も適しているといえます。火力発電の場合、原油価格の変動によって電気料金が大きく左右されます。安定した電力供給を実現するためには、原子力発電が最も効率が良いとされています。

エネルギー資源の輸入先を分散することで安全保障の面でも大きなメリットがあります。中東で小さなトラブルが発生した場合でも、国内経済が大きな影響を受けにくくなります。しかし、アメリカ合衆国のさまざまな政策は大統領選で大統領選が大統領選で大統領選が変わると、すぐに影響が出る可能性もあります。今

はそれでよくても、大統領選が変わると、すぐに影響が出る可能性もあります。日本は他国にエネルギー資源を依存するしかない面が多くあることから、調達先の分散は最も急務であることを

### 安定供給の課題

再生可能エネルギーによつて生み出された電力の安定供給には、さまざまな技術開発が求められます。地球温暖化対策のために、でも、開発だけ素早い新しい技術